

## リインシュアランス・グループ・オブ・アメリカ・インコーポレーテッド 2019年度第4四半期 決算報告および事業概況

2019年1月28日Reinsurance Group of America, Incorporated (ニューヨーク証券取引所コード: RGA) は、2019年度第4四半期の決算を発表しました。社長兼CEOアナ・マニングのメッセージは以下の通りです。

「2019年度第4四半期は見通しを若干下回る業績になったものの、通期の業績は予想を上回りました。とりわけ、堅調なビジネスの成長に加えて、積極的な資本管理戦略がビジネスの成長要因になりました。引き続き事業地域・商品ラインにおいて多様化した収入源を有するグローバルなビジネスモデルが功を奏しています。

2019年度第4四半期は、欧州・中東・アフリカからなるEMEA地域が全般に堅調な業績を収めました。グローバル・ファイナンシャル・ソリューション部門もすべての地域において好業績になり、米国の団体保険ビジネスは予想を上回る業績となりました。総じて、低迷するオーストラリアの事業、および米国の個人死亡保障ビジネスの支払実績の悪化を一部相殺しました。

2019年度第4四半期は約7800万ドルにおよぶ既契約の取引他を実行し、通期ベースで約4億6500万ドルの資本を配備しました。当社は、依然として強固な資本ポジションを備えており、有利な環境の中引き合いも多く、今後も明るい見通しを持っています。当社の余剰の資本は年末時点で約9億ドルに上ります。

2019年度通期ベースの業績を振り返ると多くの出来事がありました。グローバル・ファイナンシャル・ソリューション部門はすべての地域において堅調な実績を上げ、EMEA地域およびカナダの事業が好業績を収めたことに加え、米国の団体保険ビジネスの実績も目覚ましい回復をみせました。アジアにおいてもトップラインの成長が顕著になり、その結果、調整済営業利益が増加しました。

今後を見据えると、当社は今後のビジネスチャンスに明るい見通しを持っています。定評のある戦略を確実に実行し、RGAは市場において適切な位置づけにあります。長年の間成功を収め、好業績を実現してきたことを土台に、当社の中期的な見通しも依然として変わりません」

取締役会は、四半期配当金0.70ドルを2月6日時点で株主名簿に記載のある株主に対し2月27日に支払うことを発表しました。

### 2019年度 第4四半期 決算報告\*

- 純利益は2億3500万ドル（前年同期1億1000万ドル）、希薄化後一株当たり純利益は3.68ドル（前年同期1.72ドル）になりました。
- 調整済営業利益\*\*は、2億1900万ドル（前年同期2億2200万ドル）、希薄化後一株当たり営業利益は3.43ドル（前年同期3.46ドル）になりました
- 連結ベースの保険料収入（正味）は、為替の悪影響500万ドルを受け、前年同期から6%増加し、30億ドルになりました
- その他の包括利益累計額を含む一株当たり簿価は185.17ドル、その他の包括利益累計額を除く一株当たり簿価\*\*は135.10ドルになりました。

### 2019年度 通期決算報告要点\*

- 通期ベースの純利益は 8 億 7000 万ドル（前年度 7 億 1600 万ドル）、希薄化後一株当たり純利益は 13.62 ドル（前年度 11.00 ドル）になりました。
- 通期ベースの調整済営業利益\*\* は、8 億 5300 万ドル（前年度 7 億 8900 万ドル）、希薄化後一株当たり営業利益は 13.35 ドル（前年度 12.12 ドル）になりました

\*数値はすべて米ドル表示

\*\* GAAP 会計基準に準拠しない財務指標については注記をご参照ください

### 2019年度 第4四半期における事業の概況

- NMG コンサルティングが行った 2019 年再保険会社調査で、RGA は、アメリカ（個人死亡保障）、カナダ、イタリア、英国、オランダ、ポルトガル、南アフリカ、インドネシア、台湾、日本、フィリピン、ベトナムに加え、東南アジア、欧州、EMEA 地域において、「Business Capability Index（再保険取引能力指数）」により国・地域別第 1 位を受賞しました。その他の市場およびグローバルを対象に実施された調査の結果に加えて、グローバルの「Business Capability Index（再保険取引能力指数）」は、2019 年第 1 四半期に発表される予定です。
- 2019 年 11 月 6 日 RGA は、Efma・アクセンチュア共催の業界表彰である北米イノベーションにおいて、イノベーター・オブ・ザ・イヤーの銀賞に輝きました。更に、RGA のイノベーションセンターである RGAX の子会社 APEXA が提供するイノベーションが高く評価され、ビジネス・オペレーションの変革部門で金賞を受賞しました。これは北米におけるベストなイノベーションに与えられる賞であり、保険業界を通して優れたイノベーションに対する基準となっています。
- 2019 年 10 月 29 日 RGA は、アジア・インシュアランス・レビュー誌が主催する年間表彰制度アジア・インシュアランス・インダストリー・アワードにおいて、イノベーションの促進とオピニオンリーダーとしての貢献、および保険業界のイメージや安定性、安全性の向上を高く評価され、「Life Reinsurer of the Year（生命再保険会社年間最優秀賞）」を 3 年連続で受賞する栄誉に輝きました。
- 2019 年 12 月 RGA は、レスリー・バービー（Leslie Barbi）がエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント兼チーフ・インベストメント・オフィサーに就任し、RGA のエグゼクティブ・コミティーのメンバーになることを発表しました。バービーは資産運用の分野で 25 年におよぶ経験を有します。そのうち 15 年間は、保険業界において資産運用部門のマネジメントを務めてきました。

各事業子会社について、以下の表に示す通り、第 4 四半期における財務力格付の変更はありません。

	RGA Reinsurance Company (主要事業子会社)	RGA Americas Reinsurance Company, Ltd. (バミューダに拠点を置く事業子会社)	RGA Life Reinsurance Company of Canada (カナダの事業子会社)	RGA International Reinsurance Company dac (アイルランドに拠点を置く事業子会社)	RGA Global Reinsurance Company, Ltd. (バミューダに拠点を置く事業子会社)	RGA Reinsurance Company of Australia Limited (オーストラリアの事業子会社)	RGA Atlantic Reinsurance Company, Ltd. (バルバドスに拠点を置く事業子会社)	Omnilife Insurance Company Limited (英国に拠点を置く事業子会社)	RGA Reinsurance Company (Barbados) Ltd. (バルバドスに拠点を置く事業子会社)
S&P 保険財務力格付	AA-	AA-	AA-	AA-	AA-	AA-	(格付なし)	A+	AA-
AM ベスト	A+	A+	A+	(格付なし)	(格付なし)	(格付なし)	A+	(格付なし)	(格付なし)
ムーディーズ	A1	(格付なし)	(格付なし)	(格付なし)	(格付なし)	(格付なし)	(格付なし)	(格付なし)	(格付なし)

当社の 2019 年度第 4 四半期決算報告の詳細内容は、当社ホームページ ([www.rgare.com](http://www.rgare.com)) の Investor Relations をご参照ください。

## RGA の概要

2019 年末時点で再保険引受保有額約 3 兆 5000 億ドル、総資産 767 億ドルを有し、RGA は、米国大手企業『フォーチュン 500』にランキングする世界有数の生命再保険会社です。1973 年の設立以来、リスク管理、資本管理、革新的なソリューションにおける高度な専門性、および優れた顧客対応において、高い評価を得ています。RGA は米国ミズーリ州セントルイスに本拠地を置き、世界各国で事業を行っています。個人生命再保険、第 3 分野再保険、団体生命再保険、財務ソリューション、任意再保険、および商品開発の分野で世界中のお客様をサポートしています。

当社および当社の事業の詳細内容は、当社ホームページ ([www.rgare.com](http://www.rgare.com)) をご参照ください。

## 注記事項

### GAAP 会計基準に準拠しない財務指標について

当社は、調整済営業利益という GAAP 会計基準に準拠しない財務指標を業績結果の分析に用います。また当社の業績連動報酬制度の目標設定・業績評価も同指標に基づきます。調整済営業利益 (税引前および税引後) は、キャピタル (ゲイン) ロス、および組込デリバティブの公正価値変動や関連する繰延新契約費の影響を受けないため、当社の継続事業の収益性およびトレンドを適切に示していると考えられます。信用市場や金利環境を受けて、前述のキャピタル (ゲイン) ロス等は変動し得るものの、必ずしも当事業の業績を反映しないことがその理由です。また、調整済営業利益には、当社の現行事業を反映しない非継続事業の純利益 (損)、および会計基準変更に伴う累積的影響は含まれません。調整済営業利益の定義は各社により異なり、GAAP 会計の純利益の代用とはみなされません。

当社は、その他の包括利益累計額を除く一株当たり簿価という GAAP 会計基準に準拠しない財務指標を用いますが、投資や為替換算の時価評価調整に主に伴う未実現損益の効果を消去し、貸借対照表の評価を行う上で重要と認識しています。

希薄化後一株当たり調整済営業利益は GAAP 会計基準に準拠しない財務指標であり、調整済営業利益を希薄化後発行済株式数加重平均で除して算定されます。調整済営業利益と同様に、同指標は、当社の継続事業の収益性およびトレンドを適切に示していると考えられます。また当社の業績連動報酬制度の目標設定・業績評価にも用いられます。

GAAP 会計の純利益、一株当たり簿価、希薄化後一株当たり利益への調整については、下表をご参照ください。当社ホームページ ([www.rgare.com](http://www.rgare.com)) の Investor Relations ページには、四半期報告書および「Quarterly Financial Supplement」に付加的な財務情報が掲載されています。

一株当たり簿価（「その他の包括利益累計額を含む」から「その他の包括利益累計額を除く」への調整）

	12月末時点	
	2019年	2018年
一株当たり簿価（その他の包括利益累計額を含む）	\$185.17	\$134.53
為替換算調整累計額	(1.46)	(2.69)
有価証券未実現益（損）	52.65	13.63
退職年金・給付	(1.12)	(0.80)
一株当たり簿価（その他の包括利益累計額を除く）	\$135.10	\$124.39

2019年第4四半期（10月1日～12月31日） 純利益から調整済営業利益への調整（連結ベース）

（数値は未監査）

	単位：\$100万（一株当たり数値を除く）			
	2019年第4四半期		2018年第4四半期	
	希薄化後 一株当たり 利益	希薄化後 一株当たり 利益	希薄化後 一株当たり 利益	希薄化後 一株当たり 利益
GAAP 純利益（損失）	\$ 235	\$ 3.68	\$ 110	\$ 1.72
キャピタル（ゲイン）ロス、デリバティブ他（正味） （資産運用関連（収益）損失に含まれる）	25	0.40	25	0.38
キャピタル（ゲイン）ロス、留保資産 （資産運用収益）に含まれる）	-	-	-	-
組込デリバティブ：				
資産運用関連（収益）損失（正味）に含まれる	(37)	(0.58)	87	1.36
投資利息に含まれる	(8)	(0.13)	10	0.15
繰延新契約費（正味）	(3)	(0.05)	(10)	(0.15)
ユニットリンク型変額返金投資収益	-	-	8	0.13
ユニットリンク型変額返金投資利息	-	-	(8)	(0.13)
未確定な税金債務の支払利息	3	0.05	-	-
投資性のない為替デリバティブ	2	0.03	-	-
未確定な税金債務とその他税関連	2	0.03	-	-
調整済営業利益（損失）	\$ 219	\$ 3.43	\$ 222	\$ 3.46

\*数値はすべて米ドル表示

\*\* GAAP 会計基準に準拠しない財務指標については注記をご参照ください。